

第222回:東洋のマタハリ

50年以上も前のことだが、日本作家代表団が中国を訪問したことがある。団員は野間宏、亀井勝一郎、松岡洋子、竹内実、開高健、大江健三郎、白土吾夫と、いかにもたこにも、左派と呼ぶか親中派と云うか、オーパ！の巨匠を除けば敬して遠ざけたい面々揃いだ。半世紀も前に中華人民共和国を承認していた国は、ソ連と東欧諸国を除けばイギリスとインドくらいしかなかった。しかも、そのなかで中国の宗主国とも云ってよい存在で、戦後長く蜜月関係を続けてきたソ連は、軍事問題に絡む地政学的軋轢から中国との関係を大幅に見直すことになり、この年に中国全土から経済援助顧問団を一気に引揚げた。今の中国にちよいと似ているが、世界中から白眼視されている真っ只中の中国を訪問した日本の左派系作家代表団が各地で大歓迎を受けたのは当然のことであった。上海では毛沢東主席、周恩来首相が面談し、北京では陳毅外相が一行を歓迎した。陳毅外相との会談で、野間宏や亀井勝一郎が「われわれ日本人には、過去の中国侵略戦争に対する責任があります。われわれはこのことを忘れてはなりません。水に流すわけにはいかないのです」と謝罪したそう。これに対する陳毅外相の発言が見事である。「大変素晴らしい言葉を頂き、有難うございます。私たちは過去のことを既に過ぎ去ったことだと云い、あなたがた日本人は逆に過去を忘れないと云う。こうすれば、真の中日友好が生まれます。もし中国人がいつまでも昔のことを恨み、一方の日本人が中国を傷つけたことをすっかり忘れてしまうようでは、中日両国には永遠に友好はあり得ないでしょう」。陳毅は解放軍の10大元帥の一人であるが、鉄砲を撃つくらいしか能のない元帥たちのなかで、ただひとり軍務とは勝手が違う外相を務めた人物である。日中戦争や国共内戦では銃弾飛び交う激戦地を往来した軍人だが、日中友好問題の核心を見事に捉えていた。

それから50年、残念ながら習近平時代に入り、日中関係は悪化の一途を辿っている。お互い言い分はあるが日本人は中国人以上に情緒的な国民であり、我々がいいにせよより尊敬する中国の大人とは、①たとえ共産主義者であっても儒教的紳士であり、②筋金入りのイデオログであっても読みの深いリアリストであり、③権謀術数の達人であっても妥協を恐れない度量を持ち、④かつ、その風貌が人格を具現している周恩来や陳毅、そして鄧小平のような人物だ。云っちゃ悪いが陳毅元帥と習近平とでは、月と6ペンスじゃなくて、月となんとかだ。もっとも、そう断言しても習近平は怒らないだろう。太子党の家庭で育った彼は子供のころ、周恩来総理や陳毅元帥、鄧小平総書記の家庭を何度も訪ねたことがあり、61歳という年齢こそ陳毅たちが活躍した時期に差し掛かっているが、いまに至るも人相・風体・風貌で遠く及ばないことは存命中の習近平のお母さんがいちばんよく理解しているだろう。

そんなことを考えていたら今朝の新聞に愛新覚羅顯琦さん(95歳)の訃報が載っていた。東洋のマタハリの妹が未だ生きていたのかと驚いたが、これ東洋証券のマタハリの意ではない。残念ながらそんな女性は当社にいない。いまの若い人は「あいしんかくら」が読めないだろう。愛新覚羅顯琦は中国人だが、漢民族とは似て非なる珍しい姓と名である。中国数千年の歴史のなかで史上最強の統一国家であった大清帝國とは、満州族の征服王朝であり、開祖はワンさんやチンさんではなく、「ヌルハチ」という満州人。いまもむかし

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

も漢民族は満州語が理解できないので、便宜的にヌルハチに「努爾哈赤」と云う漢字が当てられ、清朝皇帝の正式な姓である「アイシギョロ」も当て字で「愛新覚羅」と漢字に直されているのである。

愛新覚羅顕琦さんは1918年、つまり清朝が滅び中華民国が成立した辛亥革命(1911年)から7年後に清朝の王族である肅親王家に生まれた。つまり王女だ。ラストエンペラーの愛新覚羅・溥儀は退位したが、まだ紫禁城に住むことが許されており、形式的な国家元首のような存在であった。彼女の父親肅親王には側室が多く、彼女は17番目の王女である。後に日本の政策で満州国が成立することになり、彼女は幼少期に満州国皇族として日本に留学し、学習院、日本女子大に学び、卒業後は北京の「鐘淵紡績(後の鐘紡⇒カネボウ)」で働いているとき終戦を迎えた。

その彼女が戦後に辛酸を嘗めたのは、11歳年上の実姉(第14王女)が、「東洋のマタハリ」と呼ばれた川島芳子だったからだ。芳子は生粋の満州人だが満州国で肅親王の顧問を務めていた川島浪速に請われて川島家の養女となり、日本で教育を受けた。長じて満蒙独立運動の関係で蒙古人と結婚するが、ほどなくして離婚、離婚後は上海に渡り、上海公使館付の武官として諜報活動に従事していた田中隆吉少佐(後に少将)と深い仲になり、日本軍の工作員として諜報活動に加わった。第一次上海事変勃発の裏には彼女の暗躍があったとも云われている。「男装の麗人」、「東洋のマタハリ」と持ちはやされ大陸で活躍した彼女は、戦後国民党に拘束されて「漢奸」として銃殺刑に処せられた。彼女は単なる見栄っ張りの跳ねっ張り娘で、日本軍のプロパガンダによって神棚に祭り上げられただけだと云う説も強い。マタハリを知らない若者も多いただろうから付言すると、彼女はマレー系オランダ人として第一次世界大戦のころに活躍し、後にフランス軍によってスパイとして処刑された美人ダンサーだが、ドイツ人ともフランス人とも寝る単なる娼婦だったと云う説もある。そんな娼婦をグレッタガルボが演じた途端に悲劇のヒロインとして世界中で有名になるから、映画は偉大である。因みに映画007ではジェームズ・ボンドとの間に娘マタ・ボンドまで産んでいる。

東洋のマタハリの妹は、戦後北京で料理店の経営者として静かに暮らしていたが、57年に反右派闘争が始まると、川島芳子の妹であることを理由に、中国の秘密警察から「漢奸」の濡れ衣を着せられ、農村での強制労働を含めて20数年も監禁された。最終的に冤罪を訴える鄧小平宛の手紙により名誉回復された。平和な時代になると北京で日本語学校を設立し、日中間をしょっちゅう往来して講演活動を通じ日本語教育に力を注いできた。86年に日本で出版した自伝『清朝の王女に生れて一日中のはざままで』は大きな話題となった。昨今、日中関係が悪化するなかでも親日派を自認して憚らなかったと云う。合掌。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年5月27日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040